

食品値上げ3万5000品

23年予想 昨年より大幅増

帝国データバンクは三十一日、二〇二三年の食品の値上げが三万五千品目前後に達し、値上げラッシュとな

った二二年通年の二万五千七百六十八品目を大幅に上回るとの予想を発表した。原材料高を価格転嫁する動

きに加え、輸入物価を押し上げる円安も進行し、三十日の円相場は七カ月半ぶりに一時一ドル百四十五円台を付けた。値上げ加速で家計への負担は重くなる。強まる消費者の生活防衛志向を意識した価格据え置きや、値下げも一部で出ている。—関連①面

二三年の値上げは十月までに二万九千六百品目となり、二二年通年を超える見通しだ。五月末時点の調査では、二三年の値上げ品目数は二万五千百六六だった。十月に日本酒やワインなどが値上げされることになり、品目数が積み上がった。

六月は調味料やカップ麺など三千五百八十一品目が値上がりした。エスビー食品の「テーブルコシヨ」やチューブ入りの「本生本わさび」、日清食品の「カップヌードル」などが値上がりした。

七月の値上げは二千五百六十六品目で、前年同月の約一・五倍に上る。値上げ品目の四割超を占めるのがパン製品だ。業務用小麦粉価格が上昇したため、敷島製パンは食パン「超熟」

や菓子パン「あらびきソーセイシ」、フジパンは「本仕込食パン」などを値上げする。

八月はヨーグルトなど乳製品を中心に九百八十七品目、九月はチョコレートなど千六百八十六品目に達する。十月は瓶など資材価格の上昇が影響し、日本酒など三千三百八十五品目が値上げ予定だ。